



工事タイムス

—鐵道—

○**トンネル十一ヶ所**が僅か一村内にあると云ふ紀勢本線の三重縣北牟婁郡二郷村地内の最長千百呎の荷坂トンネルや最も短い百五十一呎の小山トンネルなど岩質強硬の爲最後に残つた大倉トンネルは晝夜鑿岩機で掘鑿中のところ七月七日正午兩抗口から千七百呎の地點で貫通しこれで十一ヶ所のトンネルが悉く貫通したわけで大名倉トンネルは大正十五年十一月着工以來貫通までに一年七ヶ月を要して居る。

○**桃山驛** 改築は御大禮後の聖上御親拜に間に合ふ様工費6萬圓にて現在驛舎の向ひ側(御陵寄りの方)に清楚な木造平家建洋式驛舎一棟(七十坪)貴賓室プラウトホーム、其他附屬建物並びに現在の跨線橋を作ることになり、七月二日から工事を初めたが十月末竣成の豫定である。

○**福山市** 外の蘆田川改修工事に伴ふ輕便鐵道の新鐵橋は延長210間餘もあり輕鐵のプレートガーダーとして日本一と稱され完成も間近である。

—建築—

○**交詢社會館** 大震災に燒失した交詢社では着々復興計畫中であつたが、愈々5月29日京橋區南鍋町同社敷地で地鎮祭を舉行した。建物延坪2千4百94坪近世式ゴヂツクの鐵筋コンクリート7階建主體構造部は地階を合して8階高さ82尺5寸、外装は化粧タイル張り、人造石塗の瀟洒たるものである、談話室大廣間、讀書室、園藝室、食堂、中食堂兼講演室室内中庭(41坪)撞球場(76坪)、外に大小數個の會議室、同貸切室、同應接室、日本室、屋上食堂、屋上庭園、浴室、更衣室等、社交俱樂部として最新式の設備で竣工の上は三階及び四階全部及び其他一部を交詢社の専用とし、他は當分貸室となすはず。

○**拾參萬圓** のモダン警察署を上野に起工した鐵筋コンクリート地下室とも三階建500坪正圓形の本屋に附屬室を凸出したもの。

○**坪内逍遙博士** の演劇博物館は七月九日上棟式

○**八幡市新廳舎** は七月落成工費10萬圓の鐵筋コンクリート三階建。

○**尾道市** の荒神堂に廣島縣下第一と云ふ巡查派出所が出来た鐵筋混凝土の小ジマリしたもので詰所應接所、保護室、バルコニー迄設け工事費4千圓は管區市民の寄附。

○**一年間の建築概** 警視廳の調べによると東京市内で過去一ヶ年間の新築改築は住宅が1萬2百件工場が3千3百件倉庫が1千4百30件の合計1萬4千9百30件、これを市街地建築物法施行以前の十年前に比較すると、住宅4百件、工場百20件、車庫2百30件で合計7百50件の素晴らしい増加を示してをる。

○**九階建の鐵道省** 官衙建築準備委員會は七月六日藏相官邸に開會左記事項を審議した。

- 1、會計検査院廳舎敷地は麴町區霞關2.3番地岩倉邸跡地にこれを充つことに前回議決せしもこれを同區外櫻田國有地中内務省敷地北西に隣接する部分に變更すること、しかして右の會計検査院は地階を加へ五階とし鐵骨鐵筋コンクリート延坪3千9百80坪とすること。(可決)
- 2、内閣の廳舎は麴町區外櫻田國有地中北西角地をもつてその敷地に充て鐵筋コンクリート造地階共大體において四階建とし延坪5千200坪とし内閣官房、法制局、賞勳局、資源局、恩給局、統計局を包含せしめること。(可決)
- 3、鐵道省廳舎は東京驛の降車口前の鐵道用地をもつてその敷地に充つ鐵骨鐵筋コンクリート地階共大體九階とし延坪數1萬7千9百60坪の建物とすること。(可決)
- 4、警視廳官舎敷地は麴町區西日比谷町東京府立第一中學校跡地並霞關二丁目一番地海中學校跡地を充つこと、右は延坪4千4百59坪とすると。

○**難波驛に百貨店** 大大阪の膨脹に伴ふて大資本と大建築を誇る百貨店計畫が次から次へと畫策されてゐる折柄大阪南郊の玄關難波驛に高島屋が百貨店開始を決定した、場所は南海電鐵が新築するはずの南海ビルのうち、南海事務室を除く5千餘坪、一階から八階までを百貨店とし、日々南海電車が吞吐する十萬餘の乗客を車から店へ一気に吸収しようといふのである、この計畫は大衆を旨す雜貨日用品に力

を入れるつもりで、間口70間、昭和五年秋の竣成の豫定だが、之が爲め百貨店界に波紋を起し各百貨店とも増築や擴張案を急ぐことになり、こゝ數年後には大阪にはげしい大百貨店戦が豫想される。

○銀座に一大百貨店 の計劃は度々傳へられるが尾張町の交又點に三越の一俵半、東洋第一の大建築が計畫されてをる、鐵骨鐵筋地階とも十二階建1萬2千5百坪のもの近く正式に發表の由。

○日比谷大神宮 は木造神殿造りなるを以て防火地區の日比谷に再建は不許可となり飯田町高臺に移轉の筈九月下旬迄に完成の由。

○福山市廳舎 は現市役所東空地にL字型に木骨コンクリート二階建を工費10萬圓で新建すべく決定し武田京大教授に設計見積りを依頼するとなつた由

○建築法巡回講習會 は警視廳建築課で郡部方面に各一ヶ所三週間の豫定で技師出張九月から。

—道路と橋梁—

○壹億八千萬圓 十ヶ年繼續事業の産業道路費を明年度内務省新規事業の豫算に計上した。

○四十四米突進路工事進捗 帝都復興の大幹線道路の一號線新橋三十間堀コーナーから下谷車坂に至る幅員44米突の擴張工事は順調に捗つて居り第十四區内の京橋横町から日本橋、江戸橋に至る京橋、日本橋の裏通りは今秋の御大典までには完成させたいとあつて復興局では全力を擧げて工事を進めてゐる。その内江戸橋は道路に魁して完成し、二連からなる鋼板拱橋としてすっかり新しい装ひを凝らし工費は80萬圓である、此の大幹線道路の補装工事はアスファルト或はグラッド・シツク(碎石コンクリート)で見違へるやうなお化粧を施こす筈で兩側の下水工事は五月完成、これは平均12.3尺も低く掘り下げ土管又は鐵筋コンクリート管をもつて汚水は現在芝浦に市が工事中の汚水處分場へ流すやうになつてゐる江戸橋以上から神田龍閑町の地藏橋に至る地區内も本年度内には完成の豫定である。

○道路とガソリン代 道路の種類によつて自動車のガソリン使用量に著しい相違のあるのは勿論だが、今ガソリン一ガロンで自動車の走り得る哩數を調べて見ると

コンクリート道路	11.78哩
煉瓦敷道路	9.88
アスファルト道路	9.48
砂利道路	9.38

加工せざる道路 5.78

我國の自動車總數を4萬6千臺ガソリン一ガロンを80錢、一臺一ヶ月平均6百哩を走るものと假定すればコンクリート道路を走る場合と、砂利道路と加工せざる道路とを半分づつ走る場合とを比較するに一ヶ年一臺につき後の場合は3百40ガロンだけガソリンを多量に消費し、日本全體の自動車では實に9百25萬圓の無駄をしてゐることになると。

○大阪長柄橋墜落 昔の人柱の物語りで有名な大阪市東淀川區の長柄橋が六月下旬の豪雨で淀川の増水8尺に及二十七日午後四時頃左岸の北よりの方約20間墜落した。同橋は明治三十九年架設したもので幅3.5間、長さ370間餘、橋脚は鐵柱で、橋床は板で竣工後二十二年を経て腐朽し、然も京都より大阪に入る國道橋で交通上の幹線である爲め近く大阪都市計劃事業とし300萬圓の工費で新設する豫定のものであつた。

—港灣河川—

○港灣調査會 は七月九日内相官邸に開會し七尾、尾の道、博多、舞鶴の四港修築原案可決。

○廣島港灣修築期成 大廣島市を建設する第一歩として廣島港修築並に河川改修工事期成同盟會が商工會議所主催の下に六月十一日發會され、次いで次の諸氏の講演が催された。松波法學博士(帝大)鈴木工學博士(内務省技師)清水法學士(港灣課長)森恒工學博士(神戸港務部長)原田工學博士。

○北上川口の浚渫 は七月四日より石巻町にて着手したが波浪高くて工事進捗を危まれてゐる。

—雜 錄—

○鐵道省工務關係の異動 鐵道省では六月下旬千葉國府津の兩改良事務所を廢止して其事務は東京第一および第二改良事務所並に東京鐵道局に移管することになつた。尙これと同時に各地鐵道局の工務課長を廢止して改良課長並に保線課長を置くこととなり右に伴ふ課長級及び掛長の異動も多數に及んだ。

○木材の大滞荷 は横濱港だけで270萬石に及び輸入米國材の大洪水で港内水上作業困難の由。

○關西第一のプール が松江市末次の埋立地に中等學校生徒の勞力奉仕で七月に出來た長50米、幅16米鐵筋混凝土造り防水工も完全。

○九億圓 で25萬戶の小住宅建設を五ヶ年繼續事業費として計上した但し佛國勞働省。